

『よくなりたいたのか』 ヨハネの福音書 5章1～9節 2017.7.9(聖日礼拝説教より)

『これらのことが書かれたのは…あなたがたが信じて、イエスの御名によっていのちを得るためである。』ヨハネ20章31節 聖書には「逆転勝利の人生」への秘訣が隠されている。

①意志を引き出す神の御声(6節)…イエス様は、38年間病気で動けない人に目を留めて声をかけた。『よくなりたいたのか?』。その意味は、①**迷信からの解放**…「天使がかき混ぜた水に真っ先に入れば、どんな病も治る」とは迷信！神の呼び声は、世の惑わしから私たちを自由にする！②**責任転嫁からの解放**…この病人はイエスの声かけに、『誰も助けてくれない／いつも人に先を越される!』と嘆く。自分の不幸を人や社会のせいにする「責任転嫁」こそ、人生を罪の闇に閉じ込めるもの。神の呼び声は、諦めて絶望してる心の闇に希望の光を灯される！③**新しい人生の覚悟を問う!**…14節「見なさい。あなたはよくなった。もう罪を犯してはなりません。そうでないともっと悪い事があなたの身に起こるから」。問題が解決されて新しくされた人生は、神と共に歩んでこそ祝福される。救い主を忘れれば38年どころではない永遠の滅びが待っている。

②神と人との共同作業(8節)…本当に豊かに実を結ぶ人生の秘訣は、『神とあなたの共同作業(共に歩み、共に生き、共に働く)』による。8節『起きて、床を取り上げて歩きなさい!』天からくだって来られた神の御子こそ、人に生きる力を与えるお方(ヨハネ 20:31)! この病人は、御子の呼びかけを聞き、このお方を仰ぎ、言葉に従った。すると9節『すると、その人はすぐに直って、床を取り上げて歩き出した』。問題が解決すれば後は、神に感謝し、生涯、神と共に生きる! ★あなたは、日々神様に感謝し、その恵みに歩み、喜びに生かされているだろうか?

③「ひたすら受身」から、「ずっと一緒!」の人生へ! 私たちの人生は、最初は誰もが『受身!』神が目を留め、近づき、声をかけられる! そして愛しておられるお方を知り、仰いだ時、「起きて…歩め」との御声を聴く! 毎日忙しく、愛の神を見失い、聴くべき御声を聞き逃し、受けるべき「罪の赦し」も日々の悔い改めも忘れてしまう私たちを、神は、あらゆる試練・病・悩みの中で、大声で激しく呼びかけられる。「神の力」は、あなたの「意志の力」と働いて、大きな救いの奇跡を起こす!

★あなたに、御声に従う意志があるなら、どんなに絶望的な状況でも、イエス様には、それ逆転する(生かす)用意がある! 今週、イエス様と共に歩み、その問題から抜け出すことに集中しよう!